

MYタウン

# 赤坂青山

AKASAKA AOYAMA

地元ならではの  
旬なトピックスを  
お届けします!



宇崎竜童さん



赤坂育子さん



マイク眞木さん

特集① ご長寿! 地元の著名人に聞く

## 元気に活躍する秘訣



特集② 気軽に参加して楽しもう 地元の“おまつり”へようこそ!

特集① ご長寿! 地元の著名人に聞く

# 元気に活躍する秘訣

## INTERVIEW

人生100年時代、歳を重ねながら積極的に活躍されている方が増えてきました。  
地元ゆかりの深い著名人の方に、見ているこちらが元気をもらえるほど、  
生き生きと活動する源について語っていただきました。

生涯現役! 赤坂芸者のレジェンド

## 赤坂育子さん

### IKUKO AKASAKA

「芸者になって66年、赤坂に来て60年。人様に助けられて現在まで来た。まわりがあるから自分がある。人様に育てられてきた。赤坂に育てられてきた。だから今日がある」と快活に語る、84歳にして現役の芸者・赤坂育子（本名：室園紀久子）さん。

昭和15年（1940）に熊本県で生まれ、18歳で



#### PROFILE

昭和15年（1940）熊本県出身。24歳で上京して以来、赤坂芸者として第一線で活躍。佐藤栄作や田中角栄、石原裕次郎など、接客した著名人は数知れず。文化庁長官表彰、そして平成28年（2016）に、花柳界初となる旭日双光章を受章。故郷の熊本では熊本県芸術文化特別功労賞を受賞しています

地元の花柳界に入り、東京五輪が開催された昭和39年（1964）に「花のお江戸で勝負する!」と意を決して上京。以来、赤坂を拠点に芸者一筋の人生を送っています。平成28年（2016）には、長きにわたって日本の伝統文化に貢献し、数多くの後進を育成したことから、花柳界では初となる旭日双光章を受章しました。

現在も座敷に出ている育子さんは、赤坂会館で日本舞踊の稽古を日課とし、美容院へ行くことも日々欠かしません。特に赤坂芸者の晴れ舞台として知られる「赤坂をどり」には力を入れて

赤坂芸者の皆さんと。赤坂の町でひととき目立つ存在です。もちろん、育子さんは生涯センターポジション。まだまだ若い人のお世話にはなりません



いて、赤坂サカスなどで行われる各イベントにて、後輩の芸者たちと一緒に艶やかな踊りを披露しています。時代の変遷と共に、赤坂の料亭の数は減り、客層も変わりましたが、磨きかけた礼儀作法と巧みな話術による、おもてなしの精神で、“育子姐さん”として生涯現役を貫く覚悟を決めています。

### 100年続く、老舗を訪ねる

#### “食べた瞬間にピーナッツとわかる” ～青山但馬屋～

明治27年（1894）創業、青山の地で130年の歴史を刻んできた青山但馬屋。「曾祖父が煎った豆の量り売りから始め、祖父の時代の昭和30年代は羽振りが良かったそうです。それから徐々に手土産とか進物が減ったため、一時期は今のコンビニのように飲み物や弁当までなんでも売っているような品揃えのときもありました」と、四代目

ご主人・太田垣政紀さん。30歳の頃、「やっぱり豆の専門店にしたい」と決意し、現在の店舗に。

豆菓子はもちろん、ロングセラーのピーナッツペーストをはじめ、「食べた瞬間にピーナッツとわかる」オリジナルアイスが人気。また、お好みの豆菓子を箱詰めにもできる「青山物語」は贈り物に好評です。



店主の太田垣政紀さん（左）と弟の太田垣宏司さん（右）の2人で店を営んでいます



青山通りに面した青山但馬屋。地元の人たちだけでなく、野球、ラグビーなどのスポーツ観戦や、神宮外苑の散歩などで青山を訪れたときに立ち寄って、リピーターになる人も多いようです



タバコやアイスなども販売していた昭和49年（1974）頃、店の前で遊ぶ太田垣さん兄弟。現在は豆の専門店として、自慢の素煎落花生をはじめ、抹茶みるく豆、いちごみるく豆などの豆菓子が常時70～80種類並んでいます

ロングセラーの「ピーナッツペースト」は加糖と無糖があり、それぞれ粒入り、粒無しの4種類。一番人気は「粒入り、加糖です」とご主人

#### DATA

北青山2-7-11 ☎03-3401-2843

外苑前駅より徒歩1分

営業時間：平日10:00～19:00/土日祝10:00～17:00

休日：第3日曜、不定休



婦唱夫随!?! 阿木燿子さんとの二人三脚

# 宇崎竜童さん

## RYUDO UZAKI

### PROFILE

昭和21年(1946)東京都出身。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」など歌手として数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても、多くのアーティストに楽曲を提供し続け、音楽監督、俳優など幅広く活躍中

昭和48年(1973)、ダウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成し歌手デビューした宇崎竜童さん。作曲家としても、奥様で作詞家の阿木燿子さんとのコンビで、「プレイバックpart2」など、山口百恵さんの黄金時代を築いたことでも知られています。

78歳で音楽活動50年を迎えた今も、ライブなどで全国をまわり、2年前には緊急開腹手術後、わずか2週間でステージを敢行されたほどお元気です。また、味のある演技力も高く評価され、映画・ドラマなど多くの作品で俳優としても活躍されています。そんな宇崎さんの現役で活躍できる秘訣は阿木さんにありました。

料理もプロ級の阿木さん。家では毎食、おいしくバランスのよい阿木さんの創作料理を楽しみます。朝食は宇崎さんが担当することも。お酒が飲めない宇崎さんですが、1日2箱吸っていたタバコを100回以上!?!の失敗を経て60代前半で禁煙成功!阿木さんから、誕生日プレゼントは「禁煙してください」と言われたことがきっかけだそう。愛妻家の宇崎さんです。

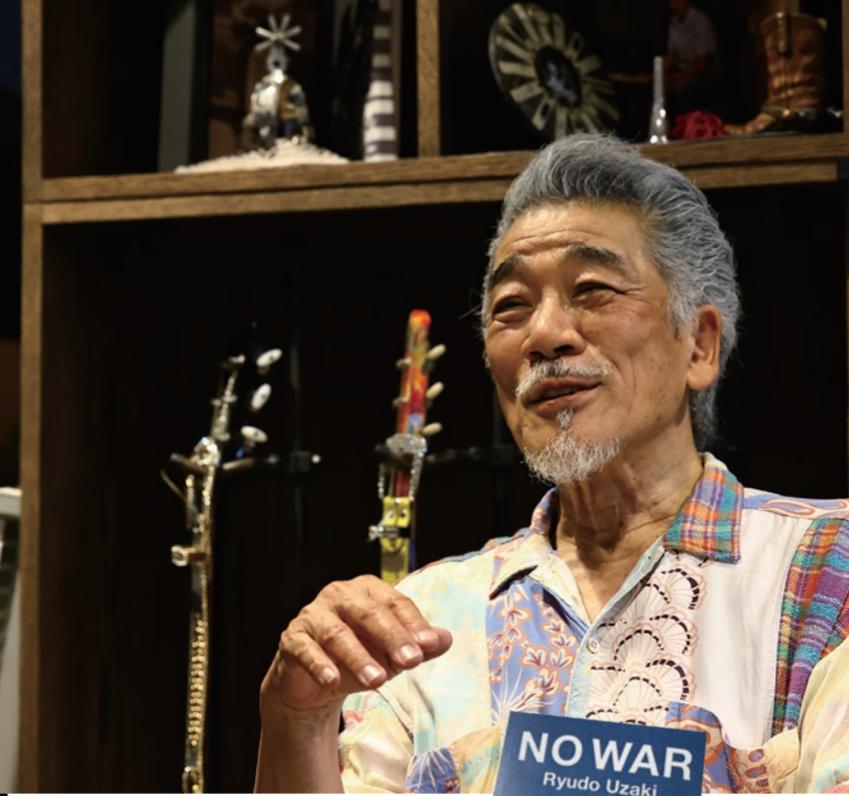
また、赤坂在住歴50年を超えるご夫婦は赤坂・



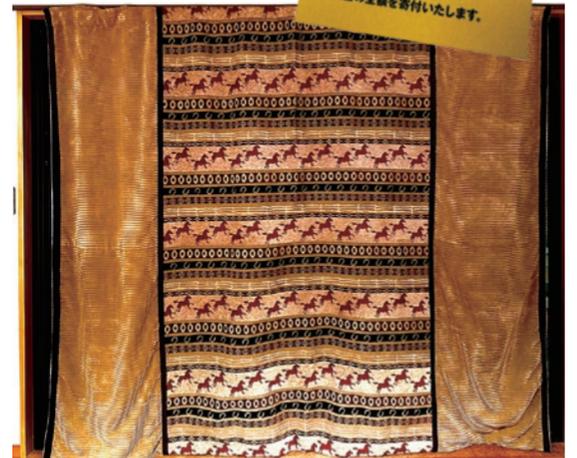
もともと絵を描くことが趣味で、ジャケットの背中や最近では部屋のカーテンロールにも龍の絵も描きました

青山の緑豊かな神社仏閣や公園で毎日7000歩をウォーキング、週に2日ジムでのトレーニングも欠かしません。

以前、赤道直下コンゴ(旧ザイール)のある村を訪れた時、電気も電化製品もないのに、子どもたちが「スタンドバイミー」を歌っていることに驚かれたとのこと。そのときに感じた、いつか自分の曲もここで歌ってもらえるようになりたい、という思いが今も音楽活動の原動力になっているそうです。これからも、宇崎さんの躍動感ある活動、素晴らしい楽曲に期待します。



コンサート会場で販売するピックは、国連WFP協会を通じて、ウクライナに全額寄付されています



阿木さん手作りのカーテンです。朝起きたら、頂いた生地と端切れを利用し、カーテンを作り始めていてびっくり!「阿木さんは常に変化し、好奇心旺盛。見ていると飽きない」と宇崎さん。阿木さんが宇崎さんの音楽活動に刺激を与えているのは間違いありません

長寿の秘訣は犬と一緒にゆったりライフ

# マイク眞木さん

## MIKE MAKI

### PROFILE

昭和19年(1944)赤坂出身。「バラが咲いた」「気楽に行こう」などが大ヒット。また俳優としても積極的に活躍しています。現在も赤坂在住です

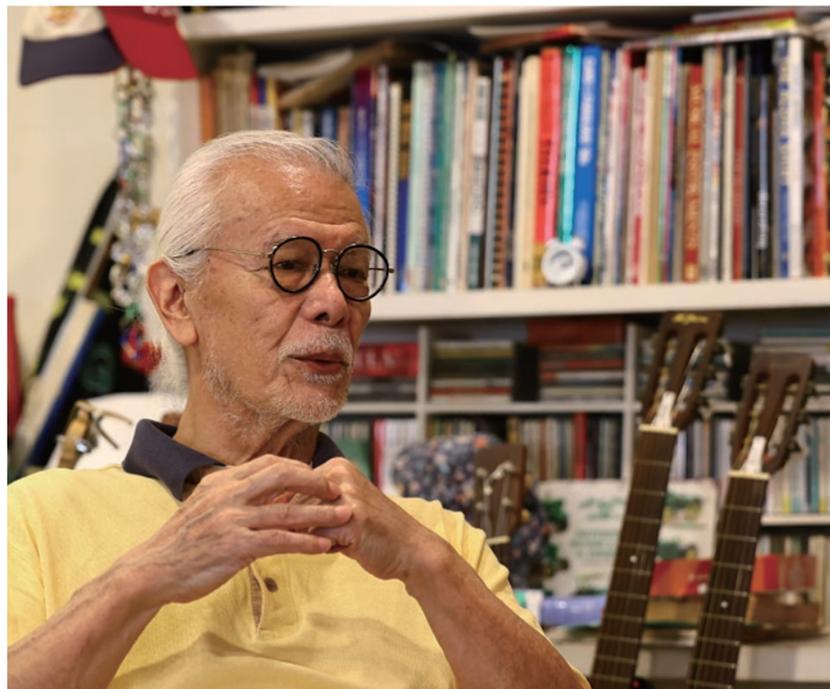
赤坂生まれのマイク眞木さん、区立氷川小学校時代は水泳大会に出場するなどスポーツ少年でした。青山学院中・高等部ではラグビーに熱中、全国高校ラグビー大会東京都予選決勝戦で秩父宮ラグビー場のピッチに立った経験も。

趣味は模型作りで、舞台美術家のお父さまの影響もあり、TBSの美術部で特撮のアルバイトをされたこともあります。

音楽との出会いは日本大学芸術学部に進まれてからのことでした。エルヴィス・プレスリーの映画を観て「オンナの子にモテるから」という理由で学生バンドを結成されたそうです。

昭和41年(1966)、「バラが咲いた」の大ヒットで紅白歌合戦に出場。その後もCMソング「気楽に行こう」や現在もボーイスカウトで歌い継がれている「キャンプだホイ」

犬と一緒に悠々自適な生活を送っているマイクさん。急ぐことなく、ゆったりと暮らすのが長寿の秘訣とのことです



ミュージシャンとして現役で活躍。地元だけでなく、各地で積極的にライブを開催しています



の作詞作曲を手がけられ、俳優としてはテレビドラマ「ビーチボーイズ」や「やすらぎの刻〜道」に出演されるなど多方面で活躍しています。

赤坂のライブハウスや、青山のウエスタンカーニバルでのライブステージ、地方でのコンサートなど80歳の現在も精力的に活動し続けておられます。流れに逆らわず好きなことを続けていたら夢が後から追いかけてきた、とおっしゃるマイク眞木さん。次はどんな夢が追いかけてくるのでしょうか。

# 地元の“おまつり”へようこそ！

赤坂・青山ではさまざまなイベントやお祭りが行われていて、地域の盛り上がりにと役買っています。どれも気軽に見たり、参加したりできる楽しいものばかり。ぜひ参加してみてください！

## 赤坂コミュニティまつり

場所：赤坂区民センター・健康増進センター | 開催日：11月9日(土)・10日(日) | 時間：10:00～16:30

### 観る、聴く、作る、買う、食べるが一度に味わえる

赤坂区民センターの3階で受付を済ませて足を進めると、そこには陶芸作品や木目込み人形・押絵などの展示作品が並んでいて、目を楽しませてくれます。

同じフロアにある区民ホールでは、毎年11月第2土曜日と日曜日の2日に分けて、日本舞踊やゴスペル、フラダンス、八丈太鼓など約15団体による楽しいパフォーマンスが繰り広げられます。

参加団体のほとんどが赤坂区民センターを練習会場として利用しているサークルです。それぞれの練習の成果を発表する場として、そして、地域の人たちとの交流の場として、「赤坂コミュニティまつり」(令和6年(2024))で第23回目は貴重な

イベントで、長年親しまれています。

また、5階の美術室では、親子で陶芸体験への参加も自由。調理室ではお蕎麦やお汁粉を味わうこともできます。

観る、聴く、作る、買う、食べるが一度に楽しめるので、ぜひ足を運んでみてください。



赤坂区民センター(赤坂コミュニティふらざ)の3～6階が会場になっています



令和4年度より実行委員長を務める「紫恵乃会」代表の佐藤恵子さん

藤間流の日本舞踊を中心に、小唄から唱歌まで披露。発表の場があると気合が入るといメンバー8人で活動中の「紫恵乃会」

「ノアノア・フラ・グループ」。ハワイアンミュージックに合わせて軽やかにステップを踏むフラダンスのサークル



平成24年(2012)に赤坂区民センターのゴスペル講座を母体に結成された「赤坂ジョイフルクワイヤ」。港区のイベントを中心に、今まで65回以上のステージに出演



まずは、「ののあおやま」の散歩道入口を照らす星灯籠と提灯が、訪れる人の目を楽しませてくれます



広い階段を彩る、青山小学校生徒作の灯籠。ぜひ近くでご覧ください。片付けも自主的にやってくれるそうです

二代目歌川広重が描いた浮世絵を元に、アートディレクターの浅葉克己さんが「青山星灯籠」のパフレットをデザインしました



## あおやまほしとうろう 青山星灯籠

場所：ののあおやま | 開催日：9月20日(金)～23日(月・祝) | 時間：18:00～20:00

### 青山の昔の風景に会いに来てください！

今年で8回目を迎える「青山星灯籠」。

夏の夜、家々から天高く伸びた竿の先にさまざまな灯籠が灯され、星が輝いているように見えたところから「星灯籠」と呼ばれたのが由来で、二代・歌川広重の浮世絵にも描かれた、江戸時代の庶民の祭事でした。

平成29年(2017)、150年ぶりにこの祭事を甦らせて、青山の歴史を遡り、昔ここにあった環境や暮らしを再発見しようとしてスタートしました。

誰でも参加できる灯

籠の絵付けには、地元・青山小学校の生徒たちも積極的に参加。その独創的な灯籠たちが階段に並んだ壮観な光景に、思わず目が釘付けになります。

他に講談師・神田山緑さんの「四谷怪談」、夜空の影絵、アートディレクター・浅葉克己さんの特別対談や、「ののあおやま」周辺店舗のお楽しみイベントも一見の価値大です。



「青山星灯籠」を立ち上げた実行委員の皆さん。左から、水野成美さん(市街地開発)、市川博一さん(ICHYS GALLERY)、和多利浩一さん(ワタリウム美術館)、遠山秀子さん(山陽堂書店)、合原紀子さん(ブレイン)



# あかさかひかわさい 赤坂氷川祭

場所：赤坂氷川神社及び周辺 | 開催日：9月13日(金)～15日(日)

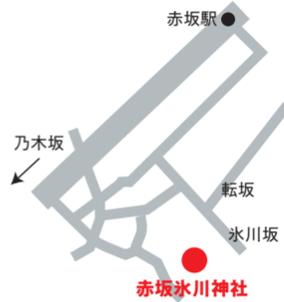
## 江戸から続く伝統、奇跡の復活と深化

赤坂氷川祭は、江戸時代に始まり、長い歴史を誇る伝統的な祭りです。戦争や都市化の影響で山車の運行が途絶えていましたが、赤坂氷川神社の蔵から奇跡的に9台の山車の部材が発見され、地域住民や有志の努力により再建が実現し、宮神輿の復活と共に当時の祭礼に匹敵する煌びやかな山車巡行の再開が果たされました。これは、地域の絆を深め、赤坂の町を活気づける重要な出来事です。

特に注目すべきは、氏子青年会の活動です。若者たちが祭りの準備や運営に積極的にに関わり、伝統の継承と新しい世代への引き継ぎに尽力しています。彼らのエネルギーと情熱が、祭りの未来を明るく照らし、地域全体の一体感を醸成する原動力となっています。

力となっています。

赤坂氷川祭は3000人もの参加者を誇る伝統行事に成長し、地域の結束力を強め、私たちの町のプライドを象徴する存在として、これからもその輝きを放ち続けることでしょう。



宵宮巡行。都心のオフィスを背景に巡行する姿は迫力満点です



宮神輿も復活して祭りに華を添えます。普段は境内に展示されています

赤坂氷川神社境内にて開催される盆踊り大会。夜店も立ち並び、大いに賑わいます



毎年9月に行われる青山熊野神社の例大祭では各町内を神輿が練り歩き、青山の町が大いに盛り上がります



宮神輿の細工は思わず見入ってしまうほど。社紋である三つ葉葵も入っていて、歴史と伝統を感じます

# あおやまくまのじんじゃれいたいさい 青山熊野神社例大祭

場所：青山熊野神社及び周辺 | 開催日：9月28日(土)・29日(日)

## 青山地区の総鎮守、熊野神社への想い

徳川御三家の一つ、紀州徳川家の祈願所として江戸邸（現在の赤坂御所内）に奉斎されたお宮を起源とする青山熊野神社。正保元年（1644）に現在の渋谷区神宮前に移遷され、当時の青山（現・神宮前と南北青山一・二丁目）の総鎮守となりました。

その由縁から社紋は「あの」「三つ葉葵」。御神燈（ちょうちん）や御朱印に加え、三つ葉葵を繋ぎ合わせた美しい金具装飾を施された宮神輿が、担ぎ手により揺れる様を見ることができる4年に1度の宮神輿の渡御が行なわれる令和8年の秋の例大祭にも大注目です。

青山一丁目から外苑前、そして渋谷神宮前（原宿）という長距離にわたり、各町会からも神輿や



青山熊野神社にも御朱印があります。こちらにも三つ葉葵が入っています

山車が練り出され、東京らしく「わっしょい」ではなく、「そいや」の掛け声を楽めます。

気持ち華やぐお祭りですが、氏子数や運営に関わる世帯が減少する中で、今回お話をうかがった総代や町内会の方々の支えにより実現しています。そのことにも感謝しながら楽しみたいですね。

# こんのうはちまんぐうれいたいさい 金王八幡宮例大祭

場所：金王八幡宮及び周辺 | 開催日：9月14日(土)・15日(日)

## 3年に一度のご鳳輦 表参道でお神輿を見よう！

渋谷とは思えない静寂さと、緑豊かな境内、金王八幡宮は平安時代の寛治6年（1092）に、澁谷氏の氏神として鎮座し、令和6年（2024）には建立932年となる由緒ある神社です。青山・渋谷の総鎮守として多くの信仰を集めています。秋の例大祭も長い歴史があるお祭りです。今年3年に一度のご鳳輦の年。神様をのせた山車が氏子地域を回ります。

また、渋谷に集結するイメージが強いお神輿ですが、青山地域の氏子3町会のお神輿が表参道交差点を中心に威勢よく回ります。お神輿の魅力は担ぎ手の熱気。青山表参道町会では町会員のみなならず、町会に縁がある同好会の皆様方も含め、

毎年100～200人近くの担ぎ手が参加されるそうです。都内で2～3基しかないといわれているやつむね形神輿は必見です。町会の一大イベントである秋の例大祭、大切に受け継がれてほしいですね。



表参道の交差点を神輿が通る（9月15日15時前後予定）のは、必見です

貴重なやつむね形神輿。青山地域の町会によって、大切に維持されています



金王八幡宮に集まる青山表参道町会のみなさんです

# INFORMATION

[インフォメーション]

## 地域 だより

Vol.9

### 青山いきいきプラザ

さまざまな教室や講座・季節のイベントを開催し、地域の皆さまの「健康づくり」「いきがづくり」のお手伝いをいたします。幅広い世代の交流や地域コミュニティ等にも取り組んでいます。



### 職員紹介

「花火」や「豆まき」など様々なイベントを開催！是非いらしてください。



秋の「愛愛の集い」では観るだけでなく体操など体験できる演目もご用意しました♪



青山いきいきプラザHP

### 赤坂警察署からのお知らせ

## 特殊詐欺被害防止の取組み ～犯人からの電話に出ないため～

#### 対策①

相手の電話番号が電話機等のディスプレイに表示される！  
**ナンバー・ディスプレイが無料！**  
非通知の電話に電話番号を通知するようガイダンスで応答！  
**ナンバーリクエストが無料！**  
両方とも申し込むことで、黒電話などディスプレイがない電話機でも非通知の電話に電話番号を通知するようガイダンスで応答することができます！

70歳以上または70歳以上の方と同居の契約者の方が対象です。

※ 適用にはお申し出が必要です。(すでにご利用中の場合も同様)  
※ ご家族も代理で申し込み手続きが可能です。

お申込み・お問合せ先  
NTT東日本  
特殊詐欺対策ダイヤル  
**0120-722-455**  
午前9時～午後5時  
(年末年始12/29～1/3を除きます)



WEB申込みでも出来ます！

#### 対策②

国際電話番号による特殊詐欺が急増中！  
海外との電話が不要な方は、  
発着信を**無償**で休止できます！！

お申込み・お問合せ先  
国際電話不取扱受付センター  
**0120-210-364**  
オペレータ案内：午前9時～午後5時  
自動音声案内：平日、土日祝24時間  
※ 固定電話・ひかり電話が対象です。

NTT東日本  
特殊詐欺対策ダイヤルも  
国際電話不取扱  
受付センターも  
通話料金は**無料**です！！



警視庁赤坂警察署防犯係

## 国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス 公開講座 乃木坂スクール (9月開講 全11講座)

### 【講座例】

「団塊の世代が、日本の老い方・死に方をどのように変えていくかを考える」(9月開講予定)  
「がんの予防と検診：効果的実践のための科学的根拠を知る」(10月開講予定)

「乃木坂スクール」は、国際医療福祉大学大学院が運営・開催する、広く社会人の方々を対象とした公開講座です。医療福祉の幅広い領域をカバーするとともに、私たちが直面する課題や時代の潮流を先取りしたテーマなど多彩です。知識の幅を広げようとする方はもちろん、実践的な専門知識やスキルを高めたい方にも適した内容となっています。キャンパスでの対面受講とオンライン受講を併用し、スケジュールに合わせ無理なく受講が可能です。皆様からのお申し込みをお待ちしています。

### 港区割引

港区内に在住の方、在職の方は受講料が割引となります。  
・お住まいの方→半額  
・お勤めの方→3割引き

●問合せ/国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス 公開講座  
乃木坂スクール事務局 (赤坂 4-1-26 ☎03-5574-3902)  
電話受付時間 平日11:00～17:30 eメールnogizaka@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクール  
東京赤坂キャンパス 公開講座



## 「食品サンプルづくり体験講座!」を実施します! 赤坂・青山子ども共育事業文化講座

赤坂地区総合支所では、地域の企業、団体、住民が主体的に地域の子ども向け事業に取り組む仕組みづくりをめざし、地域の企業や団体などと協働して小中学生向けの講座を実施しています。今回は、食品サンプルづくりを実際に体験できます。

日時 令和6年9月29日(日) (時間及び場所の詳細は調整中)

対象 赤坂・青山地域在住または在学の小学4~6年生、中学1~3年生

申込期間 9月上旬~9月中旬

※詳細については、赤坂青山共育情報局ホームページにてご確認ください。

●問合せ/赤坂青山共育情報局 ☎03-6823-5499 (平日10時~17時 ※土日祝を除く)



令和5年度の講座の様子



## 「赤坂青山美しいまち マナーのまち」 キャンペーンに参加しませんか?



### 【主な活動内容】

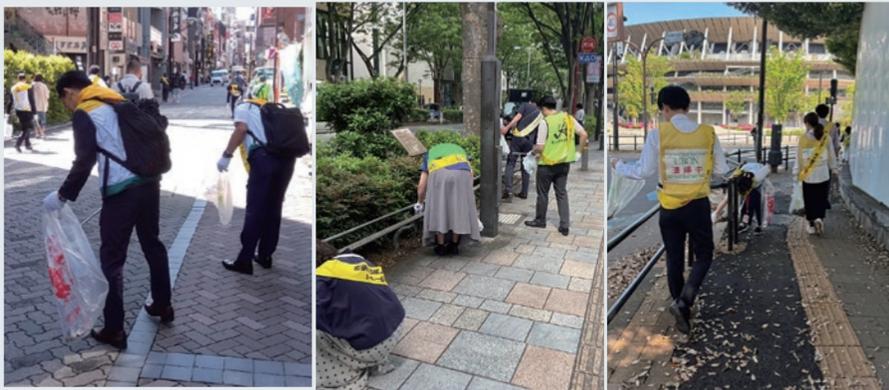
- 喫煙マナー・ルール向上の啓発活動
- 清掃活動
- 放置自転車・放置バイクへの警告札の貼付など



詳しいご紹介  
はこちら!

### 【スケジュール】

実施日	時間	活動場所
9月26日(木)	9:00~10:00 (受付9:00~)	赤坂見附駅周辺 赤坂見附駅交番前
9月27日(金)	8:40~10:00 (受付8:40~)	外苑前駅周辺 外苑前歩道上 北青山吉川ビル前
10月24日(木)	9:00~10:00 (受付9:00~)	赤坂駅周辺 赤坂Bizタワー アネックス1 赤坂通り側
10月25日(金)	9:00~10:00 (受付8:40~)	表参道駅周辺 秋葉神社前
11月21日(木)	9:00~10:00 (受付9:00~)	溜池山王駅周辺 赤坂スターゲートプラザ前
11月22日(金)	9:00~10:00 (受付9:00~)	青山一丁目駅周辺 ホンダビル前



●問合せ/港区赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 ☎03-5413-7272  
時間: 午前8時30分~午後5時まで (土曜、日曜、祝日は除く)

## 赤坂親善大使のグッズを 販売しています!

赤坂・青山のマスコットキャラクター「赤坂親善大使」は、地域で行われる様々なイベント等に出演しています。赤坂地区総合支所(赤坂コミュニティプラザ)では、赤坂親善大使のぬいぐるみやぬいぐるみストラップの販売をしています!



赤坂親善大使  
Facebook



詳しいご紹介はこちら!  
港区ホームページ

●問合せ/港区赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当 ☎03-5413-7013  
時間: 午前8時30分~午後5時まで (土曜、日曜、祝日は除く)

## 港区総合防災訓練(赤坂会場)

親善大使も訓練に参加するよ!



実施日時 令和6年11月3日(日・祝) 午前9時30分~午前11時30分

実施会場 青山中学校(港区北青山1-1-9) グラウンド、多目的ホール 他

対象 どなたでも(入場無料)

煙ハウス体験や子どもコーナー等の20~30の訓練・体験ブースをご用意しています。防災AR消火体験、防災VR火災臨場体験、ドローン体験などもございます。防災について勉強するいい機会です!是非おこしください。開催間近になりましたら港区HPや、公式X等でお知らせします。



●問合せ/港区赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 ☎03-5413-7272  
時間: 午前8時30分~午後5時まで (土曜、日曜、祝日は除く)



# 編集委員おすすめの [地元で気になるお店訪問]

## Best local place



天然本鮪と焼き茄子のタルタル。ほどよい脂に甘み・旨味もある本鮪と焼き茄子が合わさることでさっぱりといただけます

### 808

(ハチマルハチ)

素材にこだわった料理を  
モダンでおもてなしあふれる空間で

●赤坂7-5-27 赤坂パインクレスト 101 ☎03-5544-8443

イタリアのトスカーナ州で修行したオーナーとシェフが6年(2022)に赤坂にオープンした「808(ハチマルハチ)」。オーナーの山谷亘さんがゆかりのある秋田県のいぶりがっこや生ハム、長野県の野菜など、素材を大事にしたイタリア料理を提供しています。お料理に合わせたこだわりのワインがいただけるのも魅力的なレストランです。「来店されるお客さまとは心で接するようにしています。料理だけでな



取材中も気さくにお話ししてくださったオーナーの山谷さん。壁際に置かれた植物でフォトジェニックな空間に

くサービスや空間も大事にしたいですね。

お客さまとの会話も大事にしているという、気さくで笑顔が素敵な山谷さん。本日のディナーは、開放感のあるモダンな空間で極上の料理はいかかでしょうか。



オーナーこだわりのワインと料理とのペアリングも楽しめます



### 輸入オーダーカーテン モンルーベ

ヨーロッパ直輸入の  
オーダーカーテン

●南青山4-1-15 ベルテ南青山101 ☎0120-048-016

ヨーロッパで開催される新作発表・展示会に赴き、数多くの中から日本人に好まれる生地を独自の目利きでセレクトしています

創業28周年を迎え、著名人をはじめ、お客さまからのご紹介も多数という輸入オーダーカーテン「モンルーベ」。どんなカーテンをつけたら良いかわからない、プロのアドバイスに委ねたいなど、おおまかな希望をお伝えすれば、お店側で何通りも提案してくれます。



代表取締役の簀内哲子さん(右)と、取締役の簀内弓子さん(左)

「古き歴史が育んだヨーロッパの織物は『魅せる窓辺』としてお部屋をグレードアップさせられるキーマンアイテムなのです」と話す簀内哲子社長。さらに、「心を込めたサービスをもって、日常に癒やしと輝きをもたらす新しいオーダーカーテンの世界を創造していきたい!」とも。カーテン以外にもラグ・家具・照明・小物などのトータルコーディネートも手がけており、好評をいただいているとのこと。自分好みのオーダーメイドで、癒される空間づくりを試みてはいかがでしょうか?



店名である「Mon reve(モンルーベ)」はフランス語で「私の夢」という意味。感動的な美しいカーテンで彩る「夢のある空間」で心豊かに暮らす喜びを、多くの方にお届けしたいそうです



[赤坂・青山 地域の活動]

## 赤坂氷川山車保存会 / 赤坂茜囃子

あかねばやし

伝統文化を通じた子どもたちの楽しむ姿、地域の方々との交流がやりがいとなっています。

活動の内容を教えてください

赤坂氷川山車保存会では赤坂氷川神社に残る全国的にも貴重な江戸型山車「赤坂氷川山車」の修復、復元を行ってきました。地域のお祭りでの巡行や展示も行っています。後世に伝統文化を残していくためにも、飾り幕や人形の修繕等も継続して行っています。

赤坂茜囃子では、大人と子どもが一緒になって「赤坂氷川山車」に乗って演奏をしたり、地域のお祭りでの演奏をしたりなど、まちをにぎやかしたいという思いで活動をしています。子どもたちが主体で演奏するお囃子というのが特徴です。



活動する中で、どのようなやりがいや大変さを感じますか?

赤坂氷川山車保存会については、山車を復活させるために尽力する方々を側で見たことで、より赤坂氷川山車を後世に残さなければという思いが強まりました。赤坂茜囃子については、子どもたちが山車に乗って喜んでくれる姿や楽しそうに演奏している姿を見てやりがいを感じます。また、町のお祭りで演奏した際に、地域の方から演奏を褒めていただいたことや「お囃子があると祭っばいよね」と声かけをいただいたことも印象に残っています。



地域で活躍している  
方々を紹介

Vol.35

赤坂氷川山車保存会理事  
赤坂茜囃子事務局

吉田 仁さん  
よしだ じん



この活動について、今後どのように展開していきたいですか?

赤坂氷川山車や茜囃子といった伝統を守り、長く続くような形にしていきたいです。そのために特に茜囃子に関しては、指導者や演奏者の育成に力を入れて取り組みたいと考えています。現在の形を残しながらも次の世代へバトンタッチができればと思います。茜囃子の活動から一旦離れてしまった人たちが、指導者として戻ってきてくれたら嬉しいですね。



この情報誌は赤坂・青山地域の在住・在勤・在学者および赤坂・青山地域のために活動を希望する方々の編集委員によって作成しています。

赤坂・青山地域情報誌 第64号 令和6年(2024)8月発行 (発行部数: 23,300部)

編集: 港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会

発行: 港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13 TEL: 03-5413-7013 FAX: 03-5413-2019